



サルビアレター



一人ひとりが輝くまち、燕市を目指して

Vol.8

2024年3月発行
燕市企画財政部地域振興課

燕市で働くパパに聞きました！ 「育休にとって、どうだった？」

燕市では、従業員の子育て支援を積極的に進めている事業所を「つばめ子育て支援企業」として認定しています。認定企業で働き、育児休業を取得したパパのみなさんに育児のこと、仕事のことなどを聞きました。



育休をとった パパの声



育児の大変さ、楽しさを身をもって感じることができました。

初めての子育て。妻と二人で試行錯誤しながら協力して育児をすることができました。

心身ともに疲弊しましたが、それ以上に子どもの成長を見ることができて、感動しました。

育休は単なる休暇ではないと感じました。



自分の抱っこで安心して寝てくれたときはうれしかったです。

妻へ感謝の気持ちを素直に伝えることができるようになりました。

わが子が成長する姿を妻とリアルタイムで共有できてよかったです。

職場からも育休取得を後押ししてもらいました。育休に限らず、職場の仲間が休むときには今まで以上に快く送り出したいと思います。

ママの声

パパが育休をとったことについて



産後は思っている以上に身体が動かないので、夫が育休をとってくれてよかったです。

育休後も育児・家事を主体的にしてくれるので息子もお父さんが大好き。私も安心して一人で出かけられます。

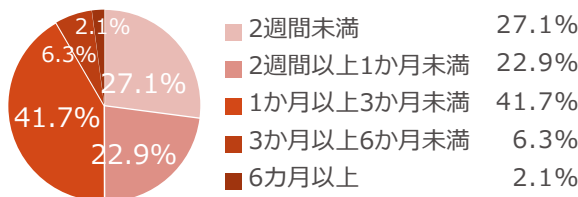
▶育休中、パパの育児・家事分担は？

- ・おむつ交換、沐浴、ミルク、夜泣き対応
- ・上の子のお世話
- ・家事全般（料理、掃除、買い物…）
- ・特に決めずにそのときどきで夫婦で分担
- ・授乳以外は何でも etc.

育休にあたり夫婦で話し合ったという声が多数。「妻には休めるときにしっかり休んでもらえるよう心がけた」「すべてが人生ではじめての経験の連続だった」といった感想も。

※2023年度 燕市男性の育児休業取得促進奨励金申請者の体験談をもとに作成

長い？短い？男性の育休取得期間



※2023年度 燕市男性の育児休業取得促進奨励金申請者の育児休業取得期間（2024年2月末現在）

燕市の男性育休奨励金制度の利用者のうち、約半数が1か月以上の育休をとっており、中には6か月以上とった人も。

それでも女性に比べてまだまだ少ない男性の育休。日々成長する子どもと過ごすことは、そのときしかできない貴重な体験です。男性も育休をとるという選択肢を積極的に考えてみませんか。

